福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	国府事業（各団体・同盟会活動関係経費）							事業コード	080101110472		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課				所属長	荻野 博明				
会計情報	款	08土木費	項	01土木管理費	目	01土木総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	166	頁
計画期間	開始年度	－	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 国土交通省が管理する国道9号の4車線化工事や夜久野改良、京都府が管理する国道429号や175号などの道路について事業の進捗を図るために近隣市町や地元組織と協力して同盟会や協議会を組織し、国土交通省や財務省、地元選出国会議員などへの要望活動を実施している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 本事業については、国土交通省や京都府が実施する事業推進を図るための活動を実施するものであるため、その活動自体の成果が見えにくいところはあるが、積極的に国土交通省、財務省等や国会議員への働きかけを継続して実施して事業推進を図ることが必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市民の安心・安全並びに利便性の向上のため、国道9号、国道429号等の整備並びに砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業等の推進を確実なものにする予算の確保を目的として、国土交通省・財務省や国会議員等に対して要望活動を実施する。また、各種全国大会に参加することにより各事業の予算確保と事業進捗を図り、事業の早期着手・完成を目指す。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・国道9号整備促進期成同盟会は、年度当初に総会を開催し、国土交通省（東京）・近畿地方整備局（大阪）、財務省、地元選出国会議員への要望活動を行う。 ・その他の同盟会、協議会等においても事業促進に向けた取り組みを実施する。 ・京都府高速道路網整備促進協議会、京都府道路協会、砂防・治水・防災協会は、事務局（京都府）主導により、国土交通省や地元選出国会議員に要望活動を行う。

対象者	全市民	対象者数	74,009	単位あたりコスト	0.2	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	421	国道9号同盟会要望活動ほか			
使用料及び賃借料	30	高速道路通行料			
負担金補助及び交付金	1,193	各協議会及び同盟会負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,801	1,658	1,848	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		1,801	1,658	1,848	
予算財源内訳	① 一般財源	1,801	1,658	1,848	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	1,801	1,658		
	③ 執行額	1,792	1,644		
	④ 執行率	99.5%	99.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	2.59 / 0.00	2.02 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	20,720	16,160		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		22,512	17,804		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	77	77	77	79		
	国道9号福知山道路（5.8km）の進捗率	目標値		78	78	78	78	80	
		達成度	%	99%	99%	99%	101%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	9	14	15	12		
	要望活動・同盟会総会等の実施回数	当初見込		15	15	15	15	15	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	事業の早期完了に向けた要望書を作成し、国土交通省、財務省、地元選出国会議員に対して、事業進捗に向けた要望活動を実施する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	箇所	2	2	2	2		
	国道429号事業箇所数	目標値		2	2	2	2	2	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%	0%	
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	1	3	1		
	要望活動・同盟会総会等の実施回数	当初見込		1	1	3	1	1	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	事業の早期完了に向けて京都府に協力するとともに、必要な場合は要望書を作成し、国土交通省、財務省、地元選出国会議員に対して、事業進捗に向けた要望活動を実施する。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	これまで、同盟会の要望活動を通じて国道9号福知山道路5.8km区間の内4.1kmが完成し、また国道429号榎峠バイパスの工事が進められるなど、国土交通省、京都府による道路整備の進捗が図られてきたところである。更なる進捗を図るために今後も継続して要望活動を実施していく必要があるが、課題として事業の実施主体が国土交通省や京都府であり、早期の事業完了に向けて要望することしかできないため、できるだけ早期に事業完了してほしい市が考えるスケジュール感と乖離がある事業がある状況である。
現状の課題に対する改善策	継続して市の状況を伝え、要望活動を強力に推進していくとともに、早期の事業完了に向けて市も国・府に積極的に協力していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	土木一般管理事業							事業コード	080101510117		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課				所属長	荻野 博明				
会計情報	款	08土木費	項	01土木管理費	目	01土木総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	167	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・建設交通部及び道路河川課共通の事務執行経費であり、経常経費的事業である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 限られた予算の中で効率的な事業運営を行っていくため、さらなる事務の効率化等が必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 建設交通部の事務執行が滞りなく進められるよう、部で使用するシステムや電子機器等の維持管理、消耗品などの管理・調達を行う。 建設交通部及び道路河川課の事務的経費を一元的に管理していくことにより、過不足なく、効率的に適正な道路行政を実施する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・デジタル複合機、土木積算システム、CADシステムなどの維持管理や部、課で使用する消耗品などの管理、調達を行う。

対象者	—	対象者数	—	単位あたりコスト	—
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	（公社）京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会、㈲京都事務機販売、㈱リサーチアンドソリューション、㈱三井田商事ほか				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	318	災害復旧技術研修会ほか	負担金補助及び交付金	578	近畿市町村災害復旧相互支援機構会費等
需用費	4,345	光熱水費、燃料費、トナーカートリッジほか			
役務費	1,421	法定点検手数料、電信・電話料等、郵送料、道路賠償責任保険保険料ほか			
委託料	3,031	電子計算機用ソフトウェア保守業務、CADソフト及び電子納品チェックソフト保守業務ほか			
使用料及び賃借料	3,201	大型デジタル複合機等賃貸借料、高速道路通行料			
備品購入費	109	カラープリンター			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	17,882	13,657	19,614	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	17,882	13,657	19,614	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	6,242	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	5,000	0	2,000	
	⑤ その他特財	12,882	13,657	11,372	
決算情報	① 流充用額	332	0		
	② 配当予算	18,214	13,657		
	③ 執行額	18,211	13,003		
	④ 執行率	100.0%	95.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.93 / 1.25	0.85 / 1.55	/	/
	② 概算人件費	18,940	11,140		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		37,151	24,143		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	道路占用料	土木使用料	12,785	9	
	行政財産使用料	土木使用料	45	8	
	公用車（道路河川課）	物品売払収入	33	32	
	土木積算単価データ利用料下水道課負担分	雑入	139	44	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
	定性的評価	目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
	定性的評価	当初見込							
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	内部庶務事業であり、コスト縮減や効率化が図れる部分については、随時見直しに努めている。 特に複写機の賃貸借契約については契約更新時に導入について十分に検討を行なったことから、削減効果がでている。 管理事業であり、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】
現状の課題に対する改善策	定期的に事務の見直しを行い、事務効率化およびコスト削減について継続的に検討を続け、よりよい道路行政の実施および適正な事務執行に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	道路台帳整備事業						事業コード	080201120121		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備					施策コード	921		
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課			所属長	荻野 博明				
会計情報	款	08土木費	項	02道路橋りょう費	目	01道路橋りょう総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	168 頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	道路法第28条									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 道路台帳を整備することは、道路法において規定されており、道路行政の執行及び道路管理事業の円滑な遂行等にも道路台帳の情報が必要となる。毎年、道路工事などで道路の形状変更があり、継続的な修正が必要となる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 毎年、道路工事などで道路の形状変更があり、継続的な修正が必要となるので、できるだけ簡易な方法で修正を行ったうえで、閲覧に供するようにしていく必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 道路台帳を正確に整備し、調書及び図面を整備することにより最新の情報に更新していく。 道路行政の執行及び市民の経済活動その他に寄与する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・道路法第28条により規定されている道路台帳の整備を行う。道路工事などにより形状などに変更があった箇所は、以下の通り補正更新する。 ①台帳補正：補正対象路線、新規認定路線、廃止路線、拡幅・区域変更・改良路線、路面種別変更路線 ②路線網データ作成：世界測地系に変換されたデータを京都府1/2500を背景にし、データを作成 ・前年度認定・廃止・区域変更等告示した路線や改良した道路、帰属を受け認定した道路等を現地測量等実施して整備している。

対象者	全市民	対象者数	74,009	単位あたりコスト	0.1	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	アジア航測株式会社京都支店、近畿測地設計株式会社、株式会社パスコ京都支店					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	5,324	道路台帳更新業務委託、道路台帳システムデータ移行作業			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	4,000	4,000	4,000	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		4,000	4,000	4,000	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	4,000	4,000	4,000	
決算情報	① 流充用額	△ 232	1,324		
	② 配当予算	3,768	5,324		
	③ 執行額	3,768	5,324		
	④ 執行率	100.0%	100.0%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.48 / 0.00	0.40 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	3,840	3,200		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		7,608	8,524		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	道路占用料	種類	土木使用料	実績金額	5,324	決算附属資料	9 頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	当初見込		―	―	―	―	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	道路法第28条により規定されている道路台帳の整備を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	毎年一回必ず補正しており、調書及び図面を整備することにより最新の情報に更新している。 補正する路線数についてはその年の事業内容等によるため年度によってばらつきがあり、数値目標は設定しない。【定性的評価】
現状の課題に対する改善策	道路台帳を整備することは、道路法において規定されており、道路行政の執行及び道路管理事業の円滑な遂行等にも道路台帳の情報が必要となる。毎年、道路工事などで道路の形状変更があり、継続的な修正が必要となるので、できるだけ簡易な方法で修正を行ったうえで、閲覧に供するようにしていく必要がある。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	道路維持管理事業							事業コード	080202120122		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課				所属長	荻野 博明				
会計情報	款	08土木費	項	02道路橋りょう費	目	02道路維持費	会計	01 一般会計	決算附属資料	168･169	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・市道を適正に維持管理することにより、市民の安心・安全な道路交通を確保することが出来る。 ・道路パトロールや市民からの通報等により道路施設の異常を速やかに発見し、調査及び修繕を実施している。 ・道路除草および街路樹が繁茂することで、車両や歩行者の安全が阻害されているほか、市道上の景観が損なわれている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・道路除草および街路樹せん定を必要とする箇所が多く、維持管理のすべてに対応できていない。 ・市道等が経年劣化により修繕を必要とする箇所が増えているため、計画的に更新していく必要がある。 ・道路パトロールや通報等により道路施設への異常対応を実施しているが、予算や人員の不足により十分に対応できていない。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市道を適正に維持管理することにより、市民の安心・安全な道路交通を確保する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・道路施設に損傷等の異常があった場合に、修繕等を実施するなど道路を適正な状態に保つように維持管理する。 ・地元要望による危険箇所の修繕等を実施する。 ・市街地や福知山駅周辺の街路樹せん定と落ち葉除去等を計画的に実施する。 ・市内の幹線道路の除草、側溝堆積物の撤去、防犯灯の設置等を実施し、道路の保全を図る。

対象者	全市民	対象者数	74,009	単位あたりコスト	1.5	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等、（公社）福知山市シルバー人材センター、関西電力株式会社ほか					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	3,646	除草作業謝礼、	備品購入費	83	高枝チェーンソー
需用費	10,005	公用車燃料代、消耗品、道路・橋りょう修繕料ほか	公課費	29	公用車車検
役務費	9,247	道路維持管理業務等手数料、法定点検手数料、自動車損害賠償保険料			
委託料	67,206	除草・剪定業務、測量・設計業務、その他維持管理業務委託料			
工事請負費	4,950	防草対策工事、街路灯補修工事			
原材料費	1,522	常温合材、砕石ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	80,926	88,243	85,858	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		80,926	88,243	85,858	
予算財源内訳	① 一般財源	2,400	5,000	2,615	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	78,526	83,243	83,243	
決算情報	① 流充用額	12,931	8,444		
	② 配当予算	93,857	96,687		
	③ 執行額	93,857	96,687		
	④ 執行率	100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.66 / 2.00	1.65 / 0.50	/	/
	② 概算人件費	18,880	14,600		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		112,737	111,287		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	道路占用料	土木使用料	96,618	9	
	自動車損害共済返戻金	雑入	7	47	
	放置自転車買取代（道路河川課）	雑入	11	47	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	4	4	4	3		
	道路管理瑕疵による事故件数	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	－	－	－	－		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	当初見込		―	―	―	―	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地元要望による危険箇所の修繕等を実施する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	市道の維持管理は、市民生活に密接に関係しており、生活利便性の向上、車両・歩行者等の交通安全の確保、治水機能の維持として重要な業務である。市道を適正に維持管理することにより市民の安心・安全な道路交通を確保することを事業の目的としており、損傷などがあった場合には事故に繋がるおそれもあることから、修繕等の対応を可能な限り迅速に行わなければならないところであり、必要に応じての市内の巡視のほか、各自治会、市民からの要望、通報など、様々な方法で情報収集するよう努めており、情報を得たら地区等関係なくその時に動ける職員がすぐに対応することで迅速に対応できている。 維持管理事業であり、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】 街路樹剪定、落葉清掃、除草、側溝清掃、防犯灯修繕等を計画的に実施することにより、道路環境の保全を図っているが、街路樹や草木の繁茂等、経費がかかることから維持管理できる範囲が限られている。
現状の課題に対する改善策	道路環境の保全を図っているが、街路樹や草木の繁茂等に係る除草についても莫大な経費がかかることから、安全を考慮しながら計画的に実施を進めている。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	除雪関連事業							事業コード	080202120123		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課				所属長	荻野 博明				
会計情報	款	08土木費	項	02道路橋りょう費	目	02道路維持費	会計	01 一般会計	決算附属資料	169	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	道路除雪計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	雪寒法										
事業区分	☐ 法定受託事務	☑ 国府補助事業	☐ 市単独事業	☐ 内部庶務的事業	☐ その他 （ ）						
関連事業	―										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 毎年、福知山市の冬季対策として福知山市市道除雪計画を策定している。 除雪計画に基づき、福知山市内の各除雪業者に除雪作業を依頼し、福知山市の冬季対策を実施する。 その他、凍結防止対策も実施する。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ①過疎高齢化による地元の自助・共助機能の低下 ②除雪業者の高齢化による廃業と業務辞退の増加 ③除雪機械の業者借上げ減少による経費の増加
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 福知山市除雪計画に沿って主要生活道路の除雪作業を行なうことにより、市民の生活道路を確保し安心・安全な生活に寄与する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・福知山市道路除雪計画に沿って、市内の除雪路線340路線、協議路線78路線、計418路線を市内38業者に委託して除雪を実施する。 ・凍結防止対策として、2業者による凍結防止剤の機械散布と、職員による必要箇所への凍結防止剤の設置を行う。 ・除雪計画で対応できない市道路線を除雪してもらうため、自治会等が除雪機械を購入する際の費用を助成する。 ・令和6年度より、「福知山市共助による市道除雪作業費補助金」を実施しており、自治会による除雪作業費を助成している。

対象者	全市民	対象者数	74,009	単位あたりコスト	3.1	
実施方法	☑ 直接実施	☑ 業務委託	☐ 指定管理	☑ 補助金交付	☐ その他 （ ）	
委託先・実施主体等	除雪・凍結防止剤散布委託業者					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	16,062	除雪車両車検・点検整備業務、凍結防止剤購入ほか	公課費	79	除雪車両車検・点検整備業務
役務費	2,815	除雪車両車検・点検整備業務、自動車総合損害共済保険料			
委託料	156,313	市道除雪業務委託契約			
使用料及び賃借料	38,977	除雪車両賃貸借契約、除雪用ドーザー車庫貸借料			
備品購入費	5	消火器			
負担金補助及び交付金	7,645	住民共助による除雪作業費補助金、除雪機械購入補助金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	70,777	72,420	75,590	0
	② 補正予算	69,528	202,000	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		140,305	274,420	75,590	
予算財源内訳	① 一般財源	69,528	218,466	23,397	
	② 国支出金	16,153	13,659	9,736	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	54,624	42,295	42,457	
決算情報	① 流充用額	33,427	△ 10,372		
	② 配当予算	173,732	264,048		
	③ 執行額	173,732	221,897		
	④ 執行率	100.0%	84.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.70 / 0.15	0.95 / 0.15	/	/
	② 概算人件費	6,020	8,020		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		179,752	229,917		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	道路占用料	土木使用料	51,319	9	
	除雪関連事業（社会資本整備総合交付金）	土木費国庫補助金	11,424	18	
	除雪関連事業（臨時道路除雪事業補助）	土木費国庫補助金	44,000	18	
	土地建物貸付収入（道路河川課）	財産貸付収入	961	30	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
	定性的評価	目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
	定性的評価	当初見込							
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	福知山市除雪計画に沿って主要な生活道路の除雪を行なうことにより、冬期における道路交通の確保を行い、積雪による市民生活への影響を抑え市民生活の維持を図っている。迅速に除雪作業、凍結防止剤散布作業を行なうことにより、市道の安心・安全な交通を確保している。 積雪の多い地域を有する本市において、冬期における基幹市道の通行及び円滑な交通の確保に除雪業務は今後も必要不可欠である。 年々、除雪業者における除雪車両の維持やオペレーターの確保等が難しい状況や事故が発生してきており、地元企業の少ない地域においては除雪業者の確保に苦慮する状況が生じている。 維持管理事業であり、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】
現状の課題に対する改善策	現在業務を委託している業者に引き続き受託してもらえるよう、除雪期間外に舗装路面の平滑化（突起物をなくすこと）や除雪業者と実施路線の点検・見直し等を行い、除雪実施業者の負担軽減に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	道路橋りょう一般管理事業							事業コード	080202120203		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課				所属長	荻野 博明				
会計情報	款	08土木費	項	02道路橋りょう費	目	02道路維持費	会計	01 一般会計	決算附属資料	169・170	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 道路・橋りょうの維持管理を適切に行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 道路・橋りょうの街路灯の維持管理経費の削減を図る。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 道路・橋りょうを適切に維持管理し安全性を高めることで、安心・安全のまちづくりの推進を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・主に道路・橋りょうの街路灯の維持管理経費。 ・その他、道路・橋りょうについての研修会等に参加する予算を確保し、職員の技術力アップを図る。

対象者	全市民	対象者数	74,009	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	13	設計業務に係る協議旅費			
需用費	6,158	電気代			
使用料及び賃借料	14,784	福知山市街路灯・公園灯LED照明化事業賃貸借			
負担金補助及び交付金	88	研修等参加負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	21,229	20,439	20,535	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		21,229	20,439	20,535	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	96	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	21,229	20,439	20,439	
決算情報	① 流充用額	△ 113	604		
	② 配当予算	21,116	21,043		
	③ 執行額	21,013	21,043		
	④ 執行率	99.5%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.10 / 0.00	0.07 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	800	560		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		21,813	21,603		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁
		道路占用料		土木使用料		20,439		9	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
	定性的評価	目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
	定性的評価	当初見込							
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	道路・橋りょうの利用者のために街路灯を設置しているものであり、利用者の安全確保において必要不可欠な事業である。 市域には多くの街路灯があり、維持管理にかかる費用は年々増加傾向にあったが、LED灯具への更新により電気料金を削減できた。 例年参加している道路・橋りょう維持管理に関する講習会等へ参加し、職員の資質向上を図ることができた。 維持管理事業のため、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】
現状の課題に対する改善策	引き続き街路灯を適正に維持管理し、道路・橋りょうの安全性の確保に努める。 道路・橋りょうの維持管理にかかる研修についても積極的に参加し、職員の資質向上に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	交通安全対策整備事業						事業コード	080203120208		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備					施策コード	921		
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課			所属長	岡部 隆幸				
会計情報	款	08土木費	項	02道路橋りょう費	目	03道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算附属資料	170 頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市通学路交通安全プログラム			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	—									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・近年では登下校中の子どもを巻き込んだ事故が発生している中で、通学路の安全確保が求められている。 ・市道管理者として、市道の危険箇所等の交通安全対策を実施し、事故防止、交通の円滑化を図る必要がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・目まぐるしく変化する交通状況の中、安全対策に対するニーズに応えることにより、予測できる危機の軽減を図り、車両や歩行者の安全確保に努めている。 しかしながら、地元、学校及びPTAなどからの交通安全対策に関する要望は多く、すべてに応えられていない。 ・本事業の交通安全対策にかかる分については、交通安全対策交付金見合いで実施しているため、事業費確保に影響がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・市道の道路管理者として適切な交通安全対策を実施し、予測できる危険の軽減をはかり、通行する人や車両の安全を確保する。 ・市内の学校の通学路について、安全対策を実施していくことで通学中の児童・生徒などの安全性を高めるとともに、保護者や地域住民の不安を軽減する。 ・高齢者や障がいのある人等、誰にでも安全でやさしい交通施設の整備を促進する。 ・福知山市通学路安全推進会議で実施する通学路合同点検の結果に基づき、通学路の危険箇所の安全対策を進める。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・通学路を安全な状態に保つための修繕を行う。・見通しの悪い交差点等において、事故発生確率の低減を目的とした補助設備として道路反射鏡を設置する。 ・車両が歩道に乗り上げ歩行者をはねる等の事故を防止することを目的とした防護柵を歩道に設置する。 ・車両が道路外へ転落することを防止するためのガードレールを設置する。 ・点字ブロックに破損やガタツキ等があった際に、視覚障がい者の歩行ルートの確保や歩行者の転倒防止を目的とした補修工事を行う。

対象者	全市民	対象者数	74,009	単位あたりコスト	0.2	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
工事請負費	8,474	石原区画駅北外周線ほか道路反射鏡設置工事ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	20,000	9,500	7,000	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	20,000	9,500	7,000	
予算財源内訳	① 一般財源	20,000	9,500	7,000	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 1,096	0		
	② 配当予算	18,904	9,500		
	③ 執行額	18,904	8,474		
	④ 執行率	100.0%	89.2%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.45 / 0.00	0.50 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	3,600	4,000		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		22,504	12,474		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
	定性的評価	目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
	定性的評価	当初見込							
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	通学路の合同点検で抽出された危険箇所および自治会要望での危険箇所において、交通安全対策を実施することにより、児童等の歩行者や車両の安心安全な道路交通の確保を図る。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	めまぐるしく変化する道路交通状況のなか、交通安全対策に対するニーズに応えることにより、予測できる危険の軽減を図り、通行する人や車両の安全の確保に努めている。とくに通学路については福知山市通学路安全推進会議で策定された福知山市交通安全プログラムに基づき、道路管理者として市道における通学路の危険箇所の安全対策を進めている。 地元、学校、PTAなどからの交通安全対策に関する要望は多く、全てには応えられていない。 緊急度に応じて対策を実施することから、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】
現状の課題に対する改善策	数多くある要望に対し、特に通学路等については市交通安全プログラムに基づき教育委員会等の関連部署と連携を取りながら、緊急度・優先度などを見極めて実施箇所を検討していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	交通安全対策整備事業(通学路緊急対策)							事業コード	080203120211		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課				所属長	岡部 隆幸				
会計情報	款	08土木費	項	02道路橋りょう費	目	03道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算附属資料	170	頁
計画期間	開始年度	令和4年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	京都府福知山市通学路緊急対策推進計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 令和3年6月千葉県八街市で発生した事故を受け、「通学路等における交通安全の確保及び飲酒運転の根絶に係る緊急対策(令和3年8月4日関係閣僚会議決定)」に基づき、これまでの点検観点に加えて新たな3観点を踏まえて緊急通学路合同点検を実施された。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 令和3年に実施した緊急通学路合同点検により抽出された安全対策必要箇所において、どのような方法で通学路等の安全確保を行うかが課題である。 歩道設置・拡幅、ガードレール等の防護柵の整備、物理的デバイスなどの新規対策を検討し、通学路における交通安全の確保を行う。
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 令和3年に実施した緊急通学路合同点検により抽出された安全対策必要箇所において、速度規制や通学路の変更など関係機関等によるソフト面での対策を組み合わせつつ、実施可能な箇所において計画的かつ集中的にハード対策を実施することで、通学路における更なる交通安全の確保を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 緊急合同点検で抽出された対策必要箇所において、効率的及び効果的に安全対策を実施する。 ・路面標示の設置　速度抑制を促す対策　N=4路線 ・路肩設置、拡幅　路肩設置による歩車道の分離　N=1路線 ・防護柵の設置　通学児童等を車両から保護する対策　N=2路線 ・交差点改良　信号機設置に向けた交差点改良　N=1路線　・歩道設置　歩道設置による歩車道の分離　N=2路線

対象者	全市民	対象者数	74,009	単位あたりコスト	1.6	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	測量設計業者、設計コンサルタント、土木工事等施工業者等、公益社団法人京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
委託料	257	公共嘱託登記業務			
工事請負費	71,176	川北荒木線歩道整備工事、川北荒木線歩道整備(その2)工事			
公有財産購入費	1,602	土地売買契約(川北荒木線)			
負担金補助及び交付金	38,803				
補償、補塡及び賠償金	1,321	物件移転補償契約(川北荒木線)			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	104,400	91,585	35,427	0
	② 補正予算	△ 11,700	0	0	0
	③ 繰越予算	△ 6,443	23,664	0	0
	前年度繰越	42,221	48,664	0	
	次年度繰越	△ 48,664	△ 25,000	0	0
小計(①～③)		86,257	115,249	35,427	
予算財源内訳	① 一般財源	5,159	6,574	2,062	
	② 国支出金	46,698	53,175	14,065	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	34,400	55,500	19,300	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	86,257	115,249		
	③ 執行額	85,322	113,159		
	④ 執行率	98.9%	98.2%		
人工概算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)	0.70 / 0.00	0.85 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	5,600	6,800		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		90,922	119,959		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	交通安全対策整備事業(通学路緊急対策)(道路交通安全施設等整備事業費補助)	土木費国庫補助金	53,175	18	
	交通安全対策整備(通学路緊急対策)(公共事業等)	土木債	39,000	51	
	交通安全対策整備(通学路緊急対策)(緊急自然災害防止対策)	土木債	14,000	51	
	交通安全対策整備(通学路緊急対策)(行政改革推進)	土木債	2,500	51	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	路線	7	8	9	9		
	通学路の安全確保（累計）	目標値		10	10	10	10	10	
		達成度	%	70%	80%	90%	90%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	路線	7	1	1	1		
	対象実施路線数	当初見込		7	3	2	1	1	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	令和3年に実施した緊急通学路合同点検により抽出された安全対策必要箇所において、計画的かつ集中的に通学路の安全対策を実施する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	関係機関等により実施された通学路緊急合同点検により、学校等からの要望に沿った通学路の危険箇所が選定されている。 緊急合同点検で抽出された危険箇所の１０箇所のうち９箇所についての緊急対策は完了し、安心安全な通学路の確保が完了したところである。 残る１箇所においては、京都府の河川改修工事との進捗調整が必要な箇所であることから、計画に遅れが生じないように京都府との綿密な調整が必要である。 また、本事業は令和3年度の合同点検での危険箇所への対策が対象となっていることから、令和4年度以降に抽出された危険箇所には対応することができない。
現状の課題に対する改善策	京都府の河川改修工事との調整が必要となるため、しっかりと連携を取り、引き続き効果的かつ効率的な事業実施に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	道路改良事業							事業コード	080203120313		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課				所属長	岡部 隆幸				
会計情報	款	08土木費	項	02道路橋りょう費	目	03道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算附属資料	170・171	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務	☐ 国府補助事業	☑ 市単独事業	☐ 内部庶務的事業	☐ その他 （ ）						
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・自治会から市道改良等に係る多数の要望が提出されている。 ・経年劣化や舗装の耐久性の低下による段差やひび割れが発生しており、通行に支障が生じている。 ・道路幅員が狭く、離合が困難な道路が存在している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・自治会要望が多数あることから、継続的な工事の実施が必要である。 ・舗装の劣化による段差や水たまり等は、車両だけでなく歩行者にとっても通行の支障となる。 ・幅員の狭い道路では、離合が困難で事故の危険性が高くなる。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・自治会要望に基づき、道路新設改良及び道路部分改良等を行うことで、車両の安全な通行確保や市民生活の利便性及び安全性の向上を図る。 ・経年劣化で損傷した道路舗装を直すことにより、車両の快適な通行を確保する。 ・道路舗装の健全な状態を維持することで、事故の発生や緊急修繕による職員の負担を軽減する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・自治会要望に基づき、必要度、緊急度、経済効果等を考慮し道路新設改良、道路部分改良、道路舗装改良、道路側溝改良等を実施した。

対象者	全市民	対象者数	74,009	単位あたりコスト	2.3
実施方法	☑ 直接実施	☑ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☐ その他 （ ）
委託先・実施主体等	土木工事等施工業者、測量設計業者、（公社）京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	15,732	池田上安場線法面調査設計業務、大迫薮ノ谷線詳細設計業務ほか			
工事請負費	123,248	内宮北原線道路改良工事、本谷線道路改良工事ほか			
公有財産購入費	7,612	林の前上すき線、水内4号線、本谷線			
補償、補塡及び賠償金	4,883	厚1号線通信設備移転補償、本谷線配水管移設補償ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	30,000	188,356	157,800	0
	② 補正予算	40,000	△ 34,300	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	70,000	154,056	157,800	
予算財源内訳	① 一般財源	8,760	9,816	4,984	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	61,000	144,000	152,600	
	⑤ その他特財	240	240	216	
決算情報	① 流充用額	18,658	0		
	② 配当予算	88,658	154,056		
	③ 執行額	88,658	151,475		
	④ 執行率	100.0%	98.3%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.00 / 0.00	2.00 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	8,000	16,000		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		96,658	167,475		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	道路改良事業（緊急自然災害防止対策）	土木債	94,900	51	
	道路改良事業（過疎対策）	土木債	46,200	51	
	道路新設改良	土木費分担金	271	5	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	路線	6	8	12	17		
	適切な道路改良の実施	目標値		6	6	4	17	17	
		達成度	%	100%	133%	300%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	路線	6	6	11	14		
	工事実施路線数	当初見込		6	6	3	15	15	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	道路拡幅、舗装改良等を実施することにより、緊急車両の通行や沿道住民及び通行者の安心・安全で円滑な交通を確保する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・自治会要望に基づく計画的な市道の新設改良、舗装改良等を実施し、市民生活の利便性の向上を図っている。 ・多くの自治会要望がある中、必要性、緊急性、経済効果などを考慮しながら精査し、事業箇所を決定している。しかしながら財政状況が厳しいことから、施工路線についてはさらに精査し、優先度をつけて計画的に実施していく必要がある。
現状の課題に対する改善策	・社会資本整備総合交付金事業など、活用できる国からの補助財源等を検討し予算確保に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	社会資本整備総合交付金事業（道路整備）							事業コード	080203120336		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課				所属長	岡部 隆幸				
会計情報	款	08土木費	項	02道路橋りょう費	目	03道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算附属資料	171	頁
計画期間	開始年度	平成21年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・京都府が設定する社会資本整備計画における「京都府内における通学路等の交通安全対策の推進」及び「京都府内における防災・減災対策と安心・安全な道路整備の推進」に関連した整備を実施している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・優先順位をつけて計画的に事業を実施しているが、大規模工事となると用地買収や占用物の補償移転が必要となり、事業完了に複数年要する場合がある。 ・事業採択要件を満たさない箇所が多く、事業実施ができない場合がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 道路、橋梁等の地域のインフラ整備を通じて、地域住民の生活環境の向上を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・道路改築、舗装修繕等の工事を実施することにより、交通基盤の整備を図り観光及び産業の振興を支援した。 ・歩道整備、側溝整備等の工事を実施することにより、通学児童生徒の安全確保を図った。

対象者	全市民	対象者数	74,009	単位あたりコスト	1.0
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	土木工事等施工業者、測量設計業者、西日本電信電話㈱京都支店、公益社団法人京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	21,845	詳細設計業務（松山下6号線、聖佳団地2号線）、用地等調査業務（松山下6号線）ほか			
工事請負費	32,988	道路改良（上荒河観音寺線、聖佳団地2号線）			
補償、補塡及び賠償金	11,985	篠尾6号線物件移転補償			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	170,000	123,700	72,600	0
	② 補正予算	△ 40,100	△ 31,000	0	0
	③ 繰越予算	112,689	△ 25,219	0	0
	前年度繰越	139,203	26,514	0	
	次年度繰越	△ 26,514	△ 51,733	0	0
	小計（①～③）	242,589	67,481	72,600	
予算財源内訳	① 一般財源	12,411	2,005	1,120	
	② 国支出金	128,878	34,476	38,280	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	101,300	31,000	33,200	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 33,216	0		
	② 配当予算	209,373	67,481		
	③ 執行額	208,167	66,818		
	④ 執行率	99.4%	99.0%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.15 / 0.00	0.95 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	9,200	7,600		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		217,367	74,418		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	社会資本整備総合交付金事業（社会資本整備総合交付金）	土木費国庫補助金	20,790	18	
	社会資本整備総合交付金事業（社会資本整備総合交付金）繰越明許	土木費国庫補助金	13,161	18	
	社会資本整備総合交付金事業（道路整備）（公共事業等）	土木債	17,500	51	
	社会資本整備総合交付金事業（道路整備）（公共事業等）繰越明許	土木債	11,100	51	
	社会資本整備総合交付金事業（道路整備）（行政改革推進）	土木債	2,000	51	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	路線数	4	2	4	4		
	適切な道路改良の実施	目標値		4	2	5	5	5	
		達成度	%	100%	100%	80%	80%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	路線数	4	2	2	2		
	工事実施路線数	当初見込		4	2	5	5	5	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	道路、橋梁等の地域のインフラ整備を通じて、地域住民の生活環境の向上を図る。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・道路は市民生活や経済活動の基礎となる重要な社会資本であり、事業実施することで利用者、沿線住民の安全を確保するとともに、利便性の向上、観光及び産業の振興を図っている。 ・社会資本整備総合交付金を活用して事業を実施しているが、全国的に要望が多いことから本市の要望どおりに予算確保ができない状況となっている。
現状の課題に対する改善策	・通学路等の交通安全対策の推進や、道路構造物の老朽化対策、防災・減災対策と安心・安全な道路整備の推進に対する交付金制度を活用し、安心・安全な道路網の整備や道路状況を保持していく事業であるため、今後についても継続して実施する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	地域間交流促進ネットワーク事業（市道整備）							事業コード	080203120353		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課				所属長	岡部 隆幸				
会計情報	款	08土木費	項	02道路橋りょう費	目	03道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算附属資料	171	頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和9年度	関連計画名	『北近畿の拠点”福知山”のネットワークを強化する道づくり計画（地域再生計画）』		R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) （3行程度以内）	※事業を実施する背景や事業における現状 本市は、由良川流域の福知山盆地を中心として、平地と市域面積の大部分を占める山地で形成されている。京阪神へのアクセスも良好で、日本海側の舞鶴市、豊岡市とも約30kmと近く交通の要衝となっている。国道9号線をはじめ、福知山市中心部と周辺地域を結ぶ各国道は、隣接市町間の交流・連携を促進する幹線道路であるとともに、地域生活を支える重要な路線となっている。
課題 （3行程度以内）	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 市域面積が広域であるため、周辺地域を結ぶ幹線道路の整備の遅れは広域連携による観光推進の効果を希薄化させ、地域間連携の妨げにつながるほか、非常時における緊急車両の円滑な通行や周辺地域住民の生活に支障をきたしており、過疎化や高齢化を進行させる一因となっている。
事業目的 （5行程度以内）	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 市内の道路網を整備し、交通の利便性、地域間交流の促進、交流ネットワークの強化を通じて、災害時における避難経路の確保、安心・安全な道路環境、観光入込客数の増加を図る。
実施概要 （5行程度以内）	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 交通量に対応した舗装構成に改良することで安全・安心な道路整備を実施した。（市道広小路勅使線） 流域の河川増水時に浸水する地区の道路の嵩上げや、改良を行うことで避難経路の確保を行った。（市道笹場小野線、福知山停車場奥榎原線） 市の主要な観光施設である、福知山市三段池動物園までの道路を整備を実施し、観光客の増加を図った。（市道三段池動物園線）

対象者	全市民	対象者数	74,009	単位あたりコスト	4.1	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	土木工事等施工業者、測量設計業者、公益社団法人京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	24	ソーラークリスタルライトほか			
委託料	46,349	広小路勅使線ほか詳細設計業務、笹場小野線詳細設計業務ほか			
使用料及び賃借料	1,464	福知山停車場奥榎原線仮橋覆工板賃貸借契約			
工事請負費	227,826				
公有財産購入費	12,711	笹場小野線、三段池動物園線			
補償、補塡及び賠償金	2,863	福知山停車場奥榎原線土地貸借契約、 三段池動物園線物件補償契約ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		161,500	257,850	250,000	0
	② 補正予算		△ 7,600	40,000	0	0
	③ 繰越予算		△ 30,673	△ 6,613	0	0
		前年度繰越	57,939	88,612	0	
		次年度繰越	△ 88,612	△ 95,225	0	0
	小計（①～③）		123,227	291,237	250,000	
予算財源内訳	① 一般財源		9,451	7,240	0	
	② 国支出金		59,876	144,197	125,000	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		53,900	139,800	125,000	
	⑤ その他特財		0	0	0	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		123,227	291,237		
	③ 執行額		123,227	291,237		
	④ 執行率		100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		1.35 / 0.00	1.30 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		10,800	10,400		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			134,027	301,637		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
地域間交流促進ネットワーク事業（市道整備）（地方創生道整備推進交付金）	土木費国庫補助金	99,903	18	
地域間交流促進ネットワーク事業（市道整備）（地方創生道整備推進交付金）（繰越明許費分）	土木費国庫補助金	44,293	18	
地域間交流促進ネットワーク事業（公共事業等）	土木債	89,900	51	
地域間交流促進ネットワーク事業（公共事業等）（繰越明許費分）	土木債	39,800	51	
地域間交流促進ネットワーク事業（行政改革推進）	土木債	10,000	51	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	路線数	2	5	4	5		
	適切な道路改良の実施	目標値	路線数	3	5	5	5	5	
		達成度	%	67%	100%	80%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	**活動指標**		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	路線数	2	3	2	5		
	工事実施路線数	当初見込	路線数	3	5	5	5	5	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市内の道路網を整備することにより、災害時における避難経路を確保し、沿道住民及び通行者の安心・安全な道路環境を確保する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	**活動指標**		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・地方版総合戦略（まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略）に基づいて、北近畿の拠点としてのネットワークづくりを強化して地域を再生していくために策定した、地域再生計画『北近畿の拠点”福知山”のネットワークを強化する道づくり計画』に市道及び林道の道路改良・舗装改良等を位置づけ、計画的に事業に取り組むことで、地方創生の推進に寄与している。 ・令和5年度からは『持続可能な生活を支える基盤の整ったまち～まちづくり構想福知山』に計画名を変更し取り組んでいる。
現状の課題に対する改善策	・地域再生計画では少子高齢化・人口減少などの社会経済情勢の変化に対応した地域の再生を図ることを目的としていることから、計画に掲載している市道の整備をすることで、観光客の流入を図り、地域経済の活性化を図るなど地方創生への効果を可視化していく必要がある。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	安心・安全まちづくり整備事業							事業コード	080203202501		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課				所属長	岡部 隆幸				
会計情報	款	08土木費	項	02道路橋りょう費	目	03道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算附属資料	171	頁
計画期間	開始年度	令和7年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・自治会等からの要望件数が毎年約650件あり、うち実施可能なものが200件程度あることから、継続的に実施していく必要がある。 ・通学路として利用している市道を含めて、多くの市道で区画線（センターライン・外側線等）が薄れた状態になっている。 ・道路法面や路肩に生えた木の枝葉が市道上に張り出し、車両や歩行者の通行を妨げている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・自治会要望等は減少することなく提出されることから、緊急度・優先度をもとに継続的に進めていく必要がある。 ・区画線の耐用年数は5～10年であることから、区画線の更新を計画的に進める必要がある。 ・支障木の枝が張り出したり、折れて落下することで、車両のはみ出し等により交通上危険な状態になっている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・自治会要望に対して工事及び修繕等を実施することで、市民満足度の向上を図る。 ・区画線を更新することで、歩車道の分離を確実にし、通学児童を含めた歩行者の安心・安全を守る。 ・支障木の枝葉をせん定することで、車両および歩行者の道路上の交通安全を確保する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・自治会要望による危険箇所等の改修を行い、市道の安全対策を実施する。 ・更新計画に基づき区画線を更新することで、安心安全な道路交通を確保する。 ・交通の支障となる枝葉を撤去することで、安心安全な道路交通を確保する。

対象者	全市民	対象者数	74,009	単位あたりコスト	0.8	
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	4,510	和久寺岩井線支障木せん定業務ほか			
工事請負費	50,431	長田小野線側溝整備工事ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	0	55,000	54,000	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		0	55,000	54,000	
予算財源内訳	① 一般財源	0	55,000	54,000	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	0	55,000		
	③ 執行額	0	54,941		
	④ 執行率		99.9%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.00 / 0.00	0.40 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	0	3,200		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		0	58,141		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	―	―	―	0		
	道路管理瑕疵による人身事故発生件数	目標値		―	―	―	0	0	
		達成度	%	―	―	―	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	当初見込		―	―	―	―	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	危険箇所等を改修することで市民の安心・安全の確保につながっているが、要望箇所数は多く、全ての要望には応えられていない。 緊急度に応じて対策を実施することから、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】
現状の課題に対する改善策	一度に全ての要望に応えることは困難なため、一定の予算を確保しながら継続的に事業を実施していく。 要望箇所をしっかりと把握した上で、効率的な事業実施に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	橋りょう長寿命化対策事業							事業コード	080204120324		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課				所属長	岡部 隆幸				
会計情報	款	08土木費	項	02道路橋りょう費	目	04橋りょう維持費	会計	01 一般会計	決算附属資料	171	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	道路法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・損傷が顕在化した事後的な補修を繰り返す事後保全型の維持管理からコスト縮減可能とされる予防保全型の維持管理へ転換を目指している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・現時点において5%程度残存している早期措置段階（Ⅲ判定）の橋梁に対する集中的な補修を実施し、予防保全型維持管理へ早期に転換する。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・計画的に橋梁の健全性を把握し、損傷が顕在化する前に予防的な補修を実施することにより少ないコストで良好な状態を継続させる。 ・公共交通の維持、交通手段の確保として今後も橋梁は重要なインフラ施設であるため、健全性を維持し続ける必要がある。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・道路構造物の定期点検が義務化された道路橋（橋長2.0m以上の橋）定期点検を5年毎に実施し、確認した損傷の状況から総合的な診断により健全性の区分の評価をするため、橋梁点検業務を実施した。 ・健全性の評価から早期措置段階（Ⅲ判定）となった橋梁を集中的な補修を実施するため、事業計画に基づく設計及び補修工事を実施した。

対象者	全市民（橋りょう利用者）	対象者数	74,009	単位あたりコスト	3.3	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	土木工事等施工業者、測量設計業者					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	1,591	橋りょう補修資材、路肩ポールほか			
委託料	123,816	長須橋補修設計業務、喜多橋・戸倉口橋補修設計業務			
工事請負費	103,802	宮前橋橋りょう補修工事、長田野西橋橋りょう補修工事			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	281,100	326,600	0	0
	② 補正予算	0	70,000	0	0
	③ 繰越予算	91,170	△ 167,372	0	0
	前年度繰越	173,850	82,680	0	
	次年度繰越	△ 82,680	△ 250,052	0	0
	小計（①～③）	372,270	229,228	0	
予算財源内訳	① 一般財源	6	1,500	0	
	② 国支出金	203,926	125,190	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	126,300	71,900	0	
	⑤ その他特財	42,038	30,638	0	
決算情報	① 流充用額	1,000	0		
	② 配当予算	373,270	229,228		
	③ 執行額	373,264	229,209		
	④ 執行率	100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	2.05 / 0.00	1.95 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	16,400	15,600		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		389,664	244,809		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
橋りょう長寿命化対策事業（道路メンテナンス事業補助）	土木費国庫補助金	79,776	18	18
橋りょう長寿命化対策事業（道路メンテナンス事業補助）（繰越明許費分）	土木費国庫補助金	45,413	18	18
橋りょう長寿命化対策事業（公共事業等）	土木債	39,800	51	51
橋りょう長寿命化対策事業（公共事業等）（繰越明許費分）	土木債	33,400	51	51
公共施設等総合管理基金繰入	基金繰入金	26,972	37	37

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	0	0	0	0		
	橋梁老朽化に伴う事故発生件数	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	橋	247	104	263	225		
	橋梁点検実施数	当初見込		259	104	312	226	259	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	・公共交通の維持、交通手段の確保として今後も橋梁は重要なインフラ施設であるため、健全性を維持し続けることが重要であり、橋梁の老朽化に伴う事故発生を抑制し健全性を維持し続ける必要がある。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・平成26年7月より国土交通省の橋梁定期点検要領に基づき、5年に1度の近接目視点検を実施しており、現在、3巡目の点検を実施しているところで、点検結果により長寿命化計画を策定して維持管理を実施している。 ・点検結果を健全度4段階で評価しており、評価の悪かった（評定Ⅲ）橋梁について順次補修工事を実施している。 ・1000橋を超える橋梁を5年に1度の限られた期間の中で点検する必要があるため、計画的な実施が必要である。
現状の課題に対する改善策	・執行に係る予算、財源については実施内容を精査した上で確保していく。 ・橋梁研修等に参加し、職員による点検を実施するための技能取得や、集約できる橋梁の整理も必要である。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	駅周辺公共施設管理事業							事業コード	080401110184		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課				所属長	川島 奈都代				
会計情報	款	08土木費	項	04都市計画費	目	01都市計画総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	173	頁
計画期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山駅自転車等駐車場条例ほか										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 福知山駅付近連立立体交差事業及び福知山駅周辺土地区画整理事業により創出した高架下土地及び駅前広場について、指定管理者制度を導入することで、民間事業者の経営ノウハウ等を活用し、施設の運営と維持管理を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 精算機等の機械投資に必要な経費に対して駐輪場等の使用料が低く、施設全体を見ると赤字となっている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 福知山駅を利用する通勤者・通学者、福知山駅周辺への買い物客、福知山駅への送迎者の利便性を向上させるとともに、不法駐輪及び不法駐車を抑止し、歩行者等の安全確保、良好な都市空間の形成を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・指定管理業務の実施（指定期間：R6～R12） ・キャッシュレス決済による施設使用料の徴収 ・施設の運営に関する指定管理者との協議（適宜実施）

対象者	市民	対象者数	73,447	単位あたりコスト	0.7
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☑ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	有限会社京都事務機販売、株式会社アマノほか				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
役務費	554	自転車等駐車場電子決裁利用料			
委託料	47,317	福知山市駅前広場及び福知山市自転車等駐車場指定管理料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	48,466	47,970	47,895	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		48,466	47,970	47,895	
予算財源内訳	① 一般財源	28,196	26,043	25,012	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	20,270	21,927	22,883	
決算情報	① 流充用額	0	△ 86		
	② 配当予算	48,466	47,884		
	③ 執行額	47,702	47,871		
	④ 執行率	98.4%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.17 / 0.20	0.11 / 0.15	/	/
	② 概算人件費	1,920	1,300		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		49,622	49,171		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
駅南口広場待機場使用料	土木使用料	269	9	
駅北口広場待機場使用料	土木使用料	380	9	
駐輪場・駐車場使用料	土木使用料	22,719	9	
駐車場管理手数料	土木手数料	247	13	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	台	8	9	5	5		
	駐輪場内放置自転車台数	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	－	－	－	－		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	千円	14,035	14,806	15,220	15,659		
	駐輪場使用料	当初見込		22,369	22,369	22,369	22,369	22,369	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	各学校への営業活動、自動空気入れやキャッシュレス決済の導入など、駐輪場定期利用者の確保と利便性の向上に向けた取り組みを継続した。 また、指定管理者独自の取り組みとして、施設利用者に対して懸賞付きアンケート調査を実施し、潜在的ニーズの抽出に取り組んだ。 アンケートの実施に当たっては、交通政策の担当係と連携してR8.4月以降の自転車罰則強化のチラシ等を配布し、効果的に啓発活動を行うことができた。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	令和6年度より指定期間が新たに開始され、自動空気入れやキャッシュレス決済の導入など、利用者の利便性向上に向けた取り組みを継続して行った。 交通安全の啓発活動と併せて施設利用者に向けたアンケート調査を実施したが、回答数が少なかったため、次年度以降は回答者を増やす取り組みが必要となる。
現状の課題に対する改善策	QRコードからの回答誘導や、景品表示法の範囲内での懸賞によって回答者数を増やす取り組みを行っているが、こういった取り組みと併せてアンケート調査を定期的に行うことで、施設利用者への意識付けを行う。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金積立事業							事業コード	080402110154		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課				所属長	川島 奈都代				
会計情報	款	08土木費	項	04都市計画費	目	02土地区画整理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	175	頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金条例										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	石原土地区画整理事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 定期借地契約による貸付料や土地区画整理事業に伴う普通財産売払収入について、基金への積立を行い、鉄道網整備及び関連都市計画事業に対する財源とする。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 普通財産の売払い完了を目指す。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金に積み立てを行い、鉄道網整備事業及び鉄道網整備に関連する都市計画事業の促進を図る原資とすることを目的とする。また、基金に積み立てて生じる運用利子を得ることで、原資を効率的に増やし、その事業を充実させる。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 商業施設の誘致による事業用定期借地料や土地区画整理事業による市有地の土地売払収入について、鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金に積み立てる。

対象者	市民	対象者数	73,447	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
積立金	23,006	借地料の積立			

Ⅲ 予算執行状況

区 分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		30,985	30,985	30,985	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			30,985	30,985	30,985	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		30,985	30,985	30,985	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		30,985	30,985		
	③ 執行額		23,006	23,006		
	④ 執行率		74.2%	74.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.05 / 0.00	0.05 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		400	400		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			23,406	23,406		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	土地貸付収入（都市・交通課）	財産貸付収入	23,006	29	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	百万円	347	371	393	410		
	基金積立残高	目標値		500	500	500	500	500	
		達成度	%	69%	74%	79%	82%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	2	2	2	2		
	定期借地契約件数	当初見込		2	2	2	2	2	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	鉄道網整備事業及び関連都市計画事業の進捗に向けた財源を確保するため、事業用地定期借地契約による収入を積み立てた。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	事業用定期借地契約による安定的な収入について、一般財源とせず基金に積み立てて効率的に運用することで、石原土地区画整理事業等に対する財源の確保を行った。 定期借地料以外の財源である普通財産の売却について、方法を検討する。
現状の課題に対する改善策	普通財産の売却促進方法について、資産活用課と協議する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	街路事業（篠尾線 篠尾工区）						事業コード	080403120332		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備					施策コード	921		
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課			所属長	川島 奈都代				
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	03 街路事業費	会計	01 一般会計	決算附属資料	175 頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市都市計画マスタープラン			R8現在の状況	他事業へ統合
根拠法令等	都市計画法、道路法									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	社会資本総合整備事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) （3行程度以内）	※事業を実施する背景や事業における現状 昭和59年に都市計画決定を受けた都市計画道路篠尾線については、概成区間である市道福知山停車場奥榎原線から国道9号までの210mが未整備区間である。
課題 （3行程度以内）	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 既存の市道は通学路に指定されているものの、歩道が狭小もしくは未整備の区間がある状況であり、国道9号の4車線化事業と併せて整備を実施し、地域交通の安全向上を図る必要がある。
事業目的 （5行程度以内）	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 篠尾線概成区間から国道9号までの区間（210m）を整備することで、通学路の安全確保のみならず、農免道路を経由した道路網を構築し、国道9号4車線化工事との相乗効果を図る。
実施概要 （5行程度以内）	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 事業用地の買収と支障物件の移転補償 用地の買収に伴う公共嘱託登記業務及び補償設計業務 事業用地所有者、隣接土地所有者及び関係機関との協議 令和7年度より「街路事業（篠尾線篠尾工区）」と「街路事業（福知山綾部線）」を統合し、「街路整備事業」とした。

対象者	市民	対象者数	73,447	単位あたりコスト	0.6	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	公益社団法人京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会、株式会社エイト日本技術開発京都支店ほか					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	6,914	道路詳細設計業務			
公有財産購入費	34,068	事業用地買収			
補償、補填及び賠償金	1,014	事業用地買収に伴う支障物件の移転補償			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	58,407	0	0	0
	② 補正予算	13,942	0	0	0
	③ 繰越予算	△ 18,853	42,403	0	0
	前年度繰越	23,550	42,403	0	
	次年度繰越	△ 42,403	0	0	0
	小計（①～③）	53,496	42,403	0	
予算財源内訳	① 一般財源	2,985	7,472	0	
	② 国支出金	29,111	20,131	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	21,400	14,800	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 6,823	0		
	② 配当予算	46,673	42,403		
	③ 執行額	45,171	41,996		
	④ 執行率	96.8%	99.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.65 / 0.00	0.31 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	5,200	2,480		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		50,371	44,476		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	街路事業（篠尾線篠尾工区）（防災・安全交付金）（繰越明許費）	土木費国庫補助金	22,154	18	
	街路事業（篠尾線篠尾工区）（公共事業等）（繰越明許費）	土木債	16,300	52	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	m	44,928	44,928	44,928	44,928		
	都市計画道路整備進捗率	目標値		45,138	45,138	45,138	45,138	45,138	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	22.4	26.3	33.9	41.2		
	事業進捗率（事業費ベース）	当初見込		26.4	29.8	39.7	42.3	100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	事業用地の買収及び支障物件の補償 関係地権者及び地元団体との協議								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	令和7年度においては、支障物件の補償契約と事業用地の買収を行った。 都市計画道路の工事着手に向けて、事業用地の確保に努めた。 地元自治会や地権者それぞれの要望事項について、引き続き課題整理を行う。
現状の課題に対する改善策	要望事項や各課題について、各論的なものはそれぞれ該当者と個別に話を進め、事業用地の買収を進める。 令和7年度より「街路整備事業」へ事業統合

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	街路整備事業							事業コード	080403120344		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課				所属長	川島 奈都代				
会計情報	款	08土木費	項	04都市計画費	目	03街路事業費	会計	01 一般会計	決算附属資料	175	頁
計画期間	開始年度	令和4年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	福知山市都市計画マスタープラン			R8現在の状況	他事業を統合	
根拠法令等	都市計画法、道路法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 現在事業化している都市計画道路は、篠尾線（篠尾工区）と福知山綾部線（興工区）の2路線である。 各地区において、既に通学路に指定されている道路が存在するが、いずれも歩道が未整備もしくは狭小な区間があり、また自動車等の交通量が多い状況である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 事業化した各路線については、歩道の未整備・狭小区間があること、また、周辺の幹線道路（国道9号、福知山綾部線（土工区））においても拡幅の予定があり、特に一部区間においては、国道9号と既存市道との接続との関係からアクセスが悪化する可能性がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 既に都市計画決定を受けている都市計画道路のうち、現在未整備となっている路線・区間の中から、将来の環境や交通状況、関係機関との連携等を含めて事業化を進めることで、歩道整備や渋滞緩和を含めた交通安全対策や、沿道利用の促進、産業基盤の整備促進等に寄与する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 事業用地の買収、支障物件の補償、買収土地の一部工事の実施 用地の買収に伴う公共嘱託登記業務及び補償設計業務 事業用地所有者や地元自治会、関係機関との協議 令和7年度より「街路事業（篠尾線篠尾工区）」と「街路事業（福知山綾部線）」を統合し、「街路整備事業」とした。

対象者	市民	対象者数	73,447	単位あたりコスト	1.4
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	株式会社ウエスコ京滋支店、株式会社キミコン京都営業所、株式会社西播設計、公益社団法人京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会、株式会社国土開発センター京都営業所、藤井不動産鑑定株式会社、福知山地方森林組合				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
役務費	69	事業用地土地売買契約書の収入印紙代			
委託料	9,009	福知山綾部線（興工区）用地調査業務ほか			
使用料及び賃借料	25	地権者協議に係る高速道路使用料ほか			
公有財産購入費	10,078	事業用地買収			
負担金補助及び交付金	31,543	京都府施行都市計画事業に係る市町村分担金			
補償、補填及び賠償金	44,860	事業用地買収に伴う支障物件の移転補償			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	0	122,862	211,206	0
	② 補正予算	0	10,993	0	0
	③ 繰越予算	0	△ 38,271	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	△ 38,271	0	0
	小計（①～③）	0	95,584	211,206	
予算財源内訳	① 一般財源	0	542	1,056	
	② 国支出金	0	30,675	62,597	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	56,500	142,800	
	⑤ その他特財	0	7,867	4,753	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	0	95,584		
	③ 執行額	0	95,584		
	④ 執行率		100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.00 / 0.00	0.70 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	0	5,600		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		0	101,184		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
街路整備事業（防災・安全交付金）	土木費国庫補助金	30,675	18	
街路整備事業基金繰入（鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金）	基金繰入金	7,867	39	
街路整備事業（公共事業等）	土木債	31,800	51	
街路整備事業（防災・減災・国土強靭化緊急対策）	土木債	20,200	51	
街路整備事業（地方道路等整備）	土木債	900	51	
街路整備事業（行政改革推進）	土木債	3,600	51	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	m	44,928	44,928	44,928	44,928		
	都市計画道路整備進捗率（篠尾線（篠尾工区））	目標値		45,138	45,138	45,138	45,138	45,138	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	22.4	26.3	33.9	41.2		
	事業進捗率（事業費ベース）（篠尾線（篠尾工区））	当初見込		26.4	29.8	39.7	42.3	100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	事業用地の買収、支障物件の補償、買収土地の一部工事の実施 買収予定地の土地境界の確認 関係地権者及び地元自治会等との協議								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	m	44,928	44,928	44,928	44,928		
	都市計画道路整備進捗率（福知山綾部線（興工区））	目標値		45,441	45,441	45,441	45,441	45,441	
		達成度	%	99%	99%	99%	99%		
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	0	4.4	9.9	18.6		
	事業進捗率（事業費ベース）（福知山綾部線（興工区））	当初見込		2.6	9.1	12.6	21.4	54.6	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	事業用地の買収及び支障物件の補償 買収予定地の土地境界の確認 関係地権者及び地元自治会等との協議								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	都市計画事業用地内の支障物件にかかる補償費の調査を行い、事業用地の買収と支障物件の補償を行った。 また、事業用地の買収に伴い必要となった工事を実施した。 また、地元の要望事項を踏まえて都市計画道路の現地説明会を実施し、都市計画道路事業の進捗状況と併せて地元や関係地権者と共有した。 地元自治会から多数要望事項を受ける中で、本件事業との関連を踏まえながら内容を精査し、可能な範囲での対応を検討する。
現状の課題に対する改善策	要望事項を精査し、地元自治会と協議を進める。 事業用地の買収と支障物件の補償について、各地権者と協議を進めていく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	街路事業（福知山綾部線）							事業コード	080403120345		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課				所属長	川島 奈都代				
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	03 街路事業費	会計	01 一般会計	決算附属資料	175	頁
計画期間	開始年度	令和4年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	福知山市都市計画マスタープラン			R8現在の状況	他事業へ統合	
根拠法令等	都市計画法、道路法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	―										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 昭和43年に都市計画決定を受けた都市計画道路福知山綾部線については、本市の都市計画マスタープランだけでなく、京都府が策定する都市計画区域マスタープランにおいても、整備を促進すべき幹線道路として位置づけられている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 現在の府道福知山綾部線は、自転車や歩行者の通行が多い路線ではあるが、歩道が狭小もしくは未整備の区間がある状況であり、京都府施行の福知山綾部線土工区の拡幅や大谷川拡幅と併せて整備を実施し、地域交通の安全向上を図る必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 都市計画道路福知山綾部線は、第2次緊急輸送道路にも指定されている防災上重要な道路であるが、土地内の一部の歩道や、石原土地区画整理事業地内より東側の興・観音寺地内が未整備であるため、京都府と連携しながら道路整備の進捗を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 事業用地の買収と支障物件の移転補償 用地の買収に伴う公共嘱託登記業務及び補償設計業務 事業用地所有者や地元自治会、関係機関との協議 令和7年度より「街路事業（篠尾線篠尾工区）」と「街路事業（福知山綾部線）」を統合し、「街路整備事業」とした。
対象者	市民　　対象者数：73,447　　単位あたりコスト：0.4
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）
委託先・実施主体等	公益社団法人京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会、株式会社西播設計

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
委託料	8,342	公共嘱託登記委託業務、用地調査等業務			
公有財産購入費	11,810	事業用地買収			
補償、補填及び賠償金	9,946	事業用地買収に伴う支障物件の移転補償			

Ⅲ 予算執行状況

区　分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	72,320	0	0	0
	② 補正予算	△ 7,324	0	0	0
	③ 繰越予算	△ 497	32,822	0	0
	前年度繰越	32,325	32,822	0	
	次年度繰越	△ 32,822	0	0	0
	小計（①～③）	64,499	32,822	0	
予算財源内訳	① 一般財源	7,483	1,570	0	
	② 国支出金	26,016	18,052	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	31,000	13,200	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	6,823	0		
	② 配当予算	71,322	32,822		
	③ 執行額	71,072	30,098		
	④ 執行率	99.6%	91.7%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.65 / 0.00	0.24 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	5,200	1,920		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		76,272	32,018		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	街路事業（福知山綾部線興工区）（防災・安全交付金）（繰越明許費）	土木費国庫補助金	16,553	18	
	街路事業（福知山綾部線興工区））（公共事業等）（繰越明許費）	土木債	11,700	52	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	m	44,928	44,928	44,928	44,928		
	都市計画道路整備進捗率	目標値		45,138	45,138	45,138	45,138	45,138	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	0	4.4	9.9	18.6		
	事業進捗率（事業費ベース）	当初見込		2.6	9.1	12.6	21.4	100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	事業用地の買収及び支障物件の補償 買収予定地の土地境界の確認 関係地権者及び地元団体との協議								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	都市計画事業用地内の支障物件にかかる補償費の調査を行い、事業用地の買収と支障物件の補償を行った。 また、地元の要望事項を踏まえて都市計画道路の現地説明会を実施し、都市計画道路事業の進捗状況と併せて地元や関係地権者と共有した。 地元自治会から多数要望事項を受ける中で、本件事業との関連を踏まえながら内容を精査し、可能な範囲での対応を検討する。
現状の課題に対する改善策	要望事項を精査し、地元自治会と協議を進める。 事業用地の買収と支障物件の補償について、各地権者と協議を進めていく。 令和7年度より「街路整備事業」として事業統合

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	都市計画事業用地管理事業							事業コード	080403510116		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課				所属長	川島 奈都代				
会計情報	款	08土木費	項	04都市計画費	目	03街路事業費	会計	01 一般会計	決算附属資料	175・176	頁
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 過去に福知山市土地開発公社にて先行取得した土地や、現在事業認可を受けた都市計画道路事業用地等について、供用開始までの維持管理が必要となる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 都市計画道路の供用開始まで必要な期間が多いほど、維持管理費用が増加する。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 都市計画事業用地について、将来の都市計画道路用地等として活用するために維持管理を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 都市計画事業用地の草刈りや修繕、貸付を行った。 倒木等隣接地の使用に支障がある部分について、伐採を行った。

対象者	管理地内の自治会（興、土師町、長田北、南本堀）	対象者数	1,183	単位あたりコスト	1.4
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	公益財団法人福知山市シルバー人材センター、福知山地方森林組合、芦田商事株式会社、一般社団法人日本経営協会ほか				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	96	事業用地侵入防止用単管バリケード			
委託料	691	都市計画事業用地草刈業務ほか			
負担金補助及び交付金	36	用地交渉研修参加費			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		1,375	935	1,035	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）		1,375	935	1,035	
予算財源内訳	① 一般財源		696	253	360	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		679	682	675	
決算情報	① 流充用額		0	0		
	② 配当予算		1,375	935		
	③ 執行額		1,266	824		
	④ 執行率		92.1%	88.1%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.13 / 0.00	0.10 / 0.00	/	/
	② 概算人件費		1,040	800		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			2,306	1,624		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
電柱占用料	土木使用料	2	9	
街路事業用地貸付収入	財産貸付収入	672	29	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	㎡	619.38	619.38	619.38	619.38		
	貸付面積	目標値		619.38	619.38	619.38	619.38	619.38	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	㎡	6,827	8,287	8,520	8,015		
	除草面積	当初見込		8,903	8,903	8,903	8,903	8,903	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	除草業務の発注（年2～3回）								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	都市計画事業用地の貸付により、維持管理費用の負担軽減を図った。 除草対象土地の繁茂状況に基づいて適切に除草時期を調整し、除草面積についても発注の都度検討しながら支出金額の抑制に努めた。 また、地元自治会の要望に基づき、倒木及び倒木可能性のある樹木について迅速に伐採を行った。
現状の課題に対する改善策	除草時期や倒木危険箇所の伐採業務の発注については、現地や地元要望等を総合的に判断して実施する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	用地一般管理事業							事業コード	080101120205		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350700 建設交通部用地課				所属長	西村 拓也				
会計情報	款	08土木費	項	01土木管理費	目	01土木総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	166・167	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	他事業へ統合	
根拠法令等	道路法・河川法・公共用地の取得に伴う損失補償基準要綱・不動産登記法・租税特別措置法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 主に道路事業や河川事業に関する境界確定及び用地取得を行うが、そのために事務環境の整備、用地に関する知識や交渉技術の習得が必要である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 用地取得等に関しては担当者が各事務の意味と各手順について十分に理解するとともに、地権者に分かりやすく説明することが求められるが、そのために必要な知識範囲が測量・登記・評価・税務・契約など多岐にわたることから、担当の研修等が必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 用地買収事務や物件補償事務を適正に執行し、ひいては道路等インフラの適切な整備・維持管理に資するため、研修をはじめ情報収集を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・用地対策連絡協議会への加入（用地補償基準等の取得・情報交換） ・用地交渉及び用地事業に関する研修への参加など ・事務用品の購入

対象者	用地買収等の対象となる土地所有者	対象者数	32	単位あたりコスト	550.9
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	35	用地職員研修・用地協議出張			
需用費	185	消耗品費（追録代・事務用品費等）			
役務費	121	郵送料（書類送付）、手数料（収入印紙代・ごみ廃棄手数料）			
負担金補助及び交付金	8	京都府用地対策連絡協議会分担金			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		830	456	0	0
	② 補正予算		0	0	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			830	456	0	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		830	456	0	
	③ 府支出金		0	0	0	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		0	0	0	
決算情報	① 流充用額		△ 67	△ 10		
	② 配当予算		763	446		
	③ 執行額		659	348		
	④ 執行率		86.4%	78.0%		
人件費概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		2.50 / 1.80	1.60 / 1.60	/	/
	② 概算人件費		25,040	17,280		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			25,699	17,628		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	国道9号用地事務費	土木費国庫委託金	348	20	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	名	31	13	19	32		
	用地交渉実施地権者数 事業用地の取得を図るため、地権者との用地交渉を実施する。	目標値		20	20	20	20	20	
		達成度	%	155%	65%	95%	160%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	3	3	4	6		
	研修参加回数　（※延べ回数）	当初見込		5	5	5	5	5	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	京都府用地対策連絡協議会等の実施する研修への参加								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	用地取得については、概ね年度当初の計画通りに契約できており、個々の事業における目標はほぼ達成できたとみられる。 課題としては、事務担当者が事業の必要性と境界確定から用地買収までの事務内容について十分に理解した上で、地権者等から理解が得られるよう、わかりやすく説明する能力が求められる。また、事業進捗管理に関して、関係課や業務委託先との十分な連絡・調整が必要である。
現状の課題に対する改善策	・事業の必要性と用地事務の流れについては年度当初に担当毎に確認及び打合せを行う。用地取得に関する知識の習得及び理解については、積極的な研修参加を促す。ただし、用地に関する興味と説明能力も必要であることから、継続的な担当職員の配置を求める。 ⇒令和8年度より法定外公共物等用地管理事業に統合

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	地籍調査事業							事業コード	080101510121		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350700 建設交通部用地課				所属長	西村 拓也				
会計情報	款	08土木費	項	01土木管理費	目	01土木総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	167･168	頁
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第7次国土調査事業10箇年計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	国土調査法、地籍調査作業規程準則										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	―										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 土地売買などの取り引きを行う場合や道路や公園などの公共インフラを計画・整備する際に土地情報としての地図等は不可欠である。しかしながら、現在、法務局が備える地図等については、現況と一致しないことが多く精度が低い情報が含まれる場合がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 明治時代に行われた測量は当時の技術的な限界により精度が低い場合がある。また、地籍情報が適切に更新されず現状と異なることがあるため、新たな復元性の高い地図を備え付けなければならない。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 土地に関する基本情報（所在、地番、地目、所有者、境界、面積など）を一筆ごとに調査するとともに、最新の測量技術により地図を作成する。その結果を登記に反映させることにより、土地取引や公共用地の取得の円滑化を図るとともに災害時の迅速な復旧に寄与する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・地図、地籍情報の現状把握 ・一筆地調査（立会・測量・図面作成）の実施 ・土地所有者への成果の閲覧 ・登記所への地籍図、地籍簿の送付、登記情報の更新

対象者	調査地区内の土地所有者	対象者数	4,900	単位あたりコスト	13.5
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	㈱京都イングス福知山営業所、㈱サンワコン京都支店、㈱上智京都支店				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	63	地籍調査推進委員謝礼	負担金補助及び交付金	29	社団法人全国国土調査協会会費
旅費	75	国土調査研修、近畿ブロック国土調査推進連絡協議会、京都府国土調査連絡協議会			
需用費	700	公用車燃料代、プリントートナー、返信用封筒、ファイルボックス			
役務費	291	電話代、郵送料			
委託料	8,916	測量業務調査委託、認証請求業務			
使用料及び賃借料	1,403	地籍システム賃借料、公用車リース			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	20,127	19,764	19,585	0
	② 補正予算	△ 5,200	△ 8,227	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	14,927	11,537	19,585	
予算財源内訳	① 一般財源	8,246	4,225	6,042	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	6,567	7,206	13,434	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	114	106	109	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	14,927	11,537		
	③ 執行額	14,351	11,476		
	④ 執行率	96.1%	99.5%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	5.30 / 4.70	5.30 / 4.30	/	/
	② 概算人件費	55,560	54,440		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		69,911	65,916		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	市道・法定外公共物境界確定等証明手数料	土木手数料	62	13	
	地籍調査成果証明等手数料	土木手数料	44	13	
	国土調査費補助金	土木費府補助金	7,206	26	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	地区	9	10	11	12		
	地籍調査事業　実施地区数（累計）	目標値		15	15	15	15	15	
		達成度	%	60%	67%	73%	80%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	本	8	8	8	6		
	地籍調査事業　業務発注数（年度計）	当初見込		8	8	8	7	7	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地籍調査事業　各地区、各工程の業務実施								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ・順次新規地区に取り組み、事業を進めている。調査成果を法務局に登記し、現地復元性のある地籍図や新しい土地の情報をまとめた地籍簿を作成し登記所に送付することで、災害復旧を含む公共事業の円滑な実施及び土地の利活用の促進に寄与している。 ・国府補助金などの財源について確保を図る必要がある。
現状の課題に対する改善策	・「第7次国土調査事業10箇年計画」に基づき「優先度の高い地区」から実施することとし、災害復旧を含む公共事業の円滑な実施や、経済効果の見込める地区から取り組んでいく。 ・社会資本整備と連携した地籍調査事業の検討を図り、より良い補助メニューを検討、活用するとともに、引き続き、近畿ブロック国土調査推進連絡協議会や京都府国土調査推進連絡協議会と連携し補助金の確保を要望していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	法定外公共物管理事業							事業コード	080101510123		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350700 建設交通部用地課				所属長	西村 拓也				
会計情報	款	08土木費	項	01土木管理費	目	01土木総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	168	頁
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	他事業を統合	
根拠法令等	福知山市法定外公共物管理条例・同施行規則・福知山市法定公共物の財産管理に関する処理要領・福知山市法定外公共物等改修助成金交付要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 地方分権の推進に伴い、従来は国の所管であった法定外公共物（里道・水路）が市町村に一括譲与された。（平成17年3月末） これを受けて、財産管理の範囲である占用手続や用途廃止等に関する事務を市が行うこととなり、適切な維持管理が求められる。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 維持管理について、内容によっては自治会等の負担が過大な場合があるとともに、人口減少や高齢化に伴い、自治会等での対応が困難な地域が増えつつある。限られた財源を有効に活用するため、法定外公共物の改修助成の対象となる自治会の選定の際には、緊急性や重要性等を考慮した上で行うことが必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 法定外公共物（里道・水路）の占用許可・用途廃止及び売払い等の事務執行をはじめ、適正な財産管理をすることにより、自治会等の地域に密接した法定外公共物（里道・水路）の適切な維持管理及び有効活用を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・法定外公共物（里道・水路）の占用申請に対する許可 ・法定外公共物（里道・水路）の用途廃止及び売払い等 ・法定外公共物（里道・水路）の改修助成及び緊急修繕対応等

対象者	市民	対象者数	74,009	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	株式会社パスコ京都支店				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	83	里道陥没等に関する緊急修繕対応			
役務費	100	手数料（里道上樹木枝伐採及び剪定枝の処分費）			
委託料	462	法定外公共物管理システム保守業務			
負担金補助及び交付金	1,264	法定外公共物等改修助成金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	2,734	2,634	3,353	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	2,734	2,634	3,353	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	2,734	2,634	3,353	
決算情報	① 流充用額	△ 264	10		
	② 配当予算	2,470	2,644		
	③ 執行額	2,460	1,908		
	④ 執行率	99.6%	72.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.35 / 0.80	1.35 / 0.40	/	/
	② 概算人件費	13,040	11,920		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		15,500	13,828		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	法定外公共物占用料（里道・水路）	財産貸付収入	644	28	
	法定外公共物管理事業基金繰入（公共施設等総合管理基金）	基金繰入金	1,264	37	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	箇所	11	12	8	6		
	法定外公共物の改修等箇所数	目標値		8	8	8	8	8	
		達成度	%	138%	150%	100%	75%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	千円	1,997	2,340	1,992	1,264		
	法定外改修助成金額	当初見込		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	自治会等が行う法定外公共物の改修等に対して改修助成金を交付する								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・法定外公共物の適正な管理を行うべく、占用許可及び売払い等を適切に実施できている。 ・機能を有しない、もしくは必要のなくなった法定外公共物については、用途廃止及び売払いを進めることで効率的な維持管理が行えている。 ・改修助成については、平成30年6月の改修助成金交付要綱の改正によりその対象を拡大し、要望に対する効果的な対応が可能となった。 ・課題としては、日常的な維持管理については地元で対応いただいているが、災害時など緊急時の修繕費用の確保が必要である。
現状の課題に対する改善策	・災害時など緊急を要する場合については、速やかに関係部署との協議を行い、予算確保に努める。 ⇒令和8年度より用地一般管理事業を統合し、法定外公共物等用地管理事業に名称変更